



# 医心伝心

マムシ咬傷のおはなし

世界中で殺人を行っている生物ランキングの3位は「ヘビ(5万人)」と報告されています。1位「蚊(72.5万人)」、2位「人(47.5万人)」です。日本に生息する毒蛇は3種、ハブ、マムシ、ヤマカガシですが、ハブは沖縄に生息、ヤマカガシの毒は強いものの、歯の構造上、毒が注入されにくく、四国で問題になる毒蛇咬傷はマムシということになります。では、マムシに咬まれると致死率が高いのか、というとそうでもなく、0.1%程度とされています。多くは腎不全が原因となります。一般に7-9月にマムシ咬傷が多いとされますが、四半世紀の県内勤務の経験上、年間を通じて発生します。

治療に関して、この分野は「エビデンス」が乏しい分野であり、諸家により様々な報告がされてい

ます。血清、ステロイド剤、破傷風トキソイド、抗生剤、セファランチンという薬や減張切開等々、治療オプションは色々ですが、効果があるのかないのか結論の出ないものも含まれています。結局は担当した医師の判断によりこれらが組み合わされ治療が行われます。

マムシに咬まれた場合、多くは、みるみる腫れが広がっていきます。そうでない場合には違う生物、あるいはマムシであっても毒が注入されていない可能性があります。マムシに咬まれた場合には咬まれた部分より10-20cm体に近い側を軽く縛り、可能であれば毒を吸引し、慌てず騒がず近医を受診してください。早く受診したくても、決して走ったりしないようにしてください。

呼吸器外科医長 湯汲 俊悟



高須賀久美子 元看護部長

## 叙勲の栄誉

この度、令和4年春の褒賞におきまして、高須賀久美子元看護部長に瑞宝双光章(ずいほうそうこうしょう)が授与されました。長年のご功績に対する栄えある受章を職員一同、心よりお祝い申し上げます。

高須賀久美子元看護部長は、昭和57年1月に当院に採用後、平成25年4月から当院副看護部長、平成27年4月から東徳島医療センター看護部長、平成30年4月から当院看護部長をそれぞれ歴任されました。当院副看護部長時代は、愛媛県看護協会教育委員を務め、認定看護管理者の取得、新病棟建築にあたっては、患者移転サブリーダーとして指揮を執られました。当院看護部長時代は、救急外来看護体制の見直しや看護研究推進、一般病棟への看護クラークの導入、呼吸器エキスパートナース育成、固定チームナーシング推進、また、新型コロナウイルス感染症患者の受入病棟の準備計画の立案やオーダリングシステム、電子カルテシステムの導入など病棟再編や病院情報システム

の構築にも大きく貢献されました。副看護部長・看護部長として数多くの看護師や看護管理者を育てるとともに、看護職員の資質の向上に貢献し、令和3年3月までの39年の長きに亘り、国立医療機関の発展に大きく貢献した数々のご功績により、授与されることとなりました。

6月30日には、当院におきまして「令和4年春の褒賞における瑞宝双光章伝達式」を執り行い、幹部職員出席の下、勲記・勲章の伝達、記念品・花束の贈呈、記念撮影が行われました。素晴らしい伝達式となり、心より嬉しく思います。高須賀久美子元看護部長の今後ますますのご活躍をお祈りいたします。この度は、栄えある叙勲、誠におめでとうございます。

庶務班長 樋口 智之



高須賀久美子元看護部長と勲記・勲章

# 医療安全管理 だより こんなことしています

## 薬剤投与間違い ZERO を目指して

患者さんが安心して薬物治療を受けるために、薬剤の投与間違いを防止することは重要です。当院では医療安全管理室が中心となり、薬剤の投与間違いZEROを目指して様々な活動を行っています。今回は与薬グループが取り組んでいる活動内容を紹介します。

電子カルテに備わる与薬管理システムを利用することはタイムリーな指示受けを可能とし、薬剤の投与間違い防止につながると考えています。

ハイリスク薬は、医療従事者にとって使い方を誤ると、患者さんに被害をもたらす薬剤であり、投与間違いにより患者さんに及ぼす影響の大きさに十分配慮し、使用上および管理上、特に安全な取扱いに留意しなければならないものです。今回、当グループでは処方・調剤・与薬のすべての過程において、医師、薬剤師、看護師が共通認識できるよう、電子

カルテ処方箋画面や薬袋等のハイリスク薬の医薬品名の前に「◆」印を印字し、与薬管理システム上で、どの薬剤がハイリスク薬か簡単に識別できるようにしました。この注意喚起表示を行うことで、与薬業務を担当する職員が、取り扱う薬剤の特徴と注意点を容易に判断することができるようになりました。今後は個々のリスク意識の向上や投与間違いの未然防止につながるよう、確認・実施入力 of 推進や手順書の見直しを行っていく予定です。

さらに与薬管理システムの利用率と薬剤の投与間違い発生数の解析を行い、投与間違い防止について提言できたらと考えています。

副薬剤部長 峯本 譲



## ふれあい看護体験

### オンライン開催

今年度のふれあい看護体験は、感染急速拡大から開催が難しく中止の手続きを始めていました。そんな時に看護部から「今の高校生は様々な機会をなくしている。方法を考えてみない？」との意見があり、看護体験はできないが看護の現場を伝える「オンラインふれあい看護体験」の企画が進み始めました。

2020年から続いている新型コロナウイルス感染拡大により、看護の現場は以前できていたことが「できない」困難に直面しています。患者さん家族の面会、看護学生の臨地実習などがそうです。しかし試行錯誤、方法を変え現場も努力しています。ふれあい看護体験も、中止より今後の可能性を模索しようとオンライン開催が決定しました。

愛媛県内の高校生6名からオンライン参加可能な返事があり、「看護師の仕事に興味があるので現場のリアルが知りたい」そのような事前希望を聞き、今まさに現場で活躍している感染管理認定看護師の活動や、創傷や排泄管理を必要とする患者さんへ専門的な看護介入を行う皮膚排泄ケア認定看護師の活動、また2年目看護師の現場での奮闘など、看護師が入れ替わりながら高校生とのディスカッションを行いました。

2時間の限られた時間でしたが「他校の参加者と意見交換できて楽しかった。自信につながりました」「命の尊厳に興味がありました。現場の看護師さんのお話を聞いて良かったです」「認定看護師さんのお話に圧倒されました」と生き生きとした様子で感想を話してくれました。

また後日、一緒に参加した保護者の方よりお礼のメッセージと共にオンライン後のお子さんの満足感をお知らせいただき、高校生たちも進路選択するうえで今回のオンライン開催は実りある場となったようでした。

従来実施していた「ふれあい看護体験」のように、看護を体験することは叶いませんでしたが、進路選択を控えた高校生に向け、看護の仕事について伝える機会作りを模索するのも私たちの役割です。オンラインでも現場を伝えることができる。可能性をあきらめないことを学んだ「ふれあい看護体験」開催となりました。

教育担当看護師長 亀岡 福江



ログイン中の亀岡看護師長と大久保ICN

# あんなこと こんなこと **したり**

今や日本の成人の約5人に1人が糖尿病患者および予備軍であり、全国で2000万人にもものぼると考えられています。糖尿病は古くから知られている病気ですが、最近の増加は食生活の変化や運動不足、ストレスの増加といったものと無縁ではありません。糖尿病は、特に痛い、苦しいわけでもなく、合併症が進むまでなかなか症状が出にくいので、治療や療養を怠ると数多くの恐ろしい合併症が現れる厄介な病気です。その反面、適切な治療を続ければ、健康な人と変わることなく生活することができます。



栄養士によるもぐもぐタイム

糖尿病治療の目標は「糖尿病をコントロールすることで、合併症を抑え、健康的で充実した社会生活を送れるようにすること」です。具体的には「血糖を良くコントロールし、適正な体重を保ち、これを続けること」です。そのためには医療従事者だけでなく、患者さん自身が積極的に治療に取り組み、自己管理を行うことが最も大切です。

そこで当院では平成23年度より糖尿病サポートチームを立ち上げ、患者さんの自己管理の手助けとなるよう、糖尿病教室を開催しています。当院の糖尿病教室は年に4回、1時間半程度で、対象は外来の通院患者さんが中心ですが、糖尿病教育入院期間中の患者さんや家族、友人の方も参加できます。内容はいろんな科の医師や多職種らが話をする「講義型」。日頃関わるのが少ない患者さん同



受講中の参加者

士やスタッフを交えて、血糖コントロールなど、他の人はどんな工夫をして生活しているのかを話すことができる「座談会」や、各職種に分けたブースを作って血糖測定や薬の説明、食事や運動のことを個人的に聞くことができる「参加型」などがあります。また休憩時には栄養士が糖尿病患者さんにも美味しいおやつを作ってふるまってくれます。現在はコロナの影響で開催できていませんが再開した際には参加して頂き、糖尿病の正しい知識を持って、ゆっくり付き合っていきましょう。

3階病棟看護師 佐々木 隆司



座談会型



## 看護の日イベント 絵手紙で心を届けよう

今年度の看護の日イベントでは、「絵手紙で心を届けよう」と題し、絵手紙を募り掲示を行いました。「看護の日」は1990年旧厚生省により制定されました。21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人ひとりが分かち合うことが必要です。こうした心を老若男女問わずだれもが育むきっかけとなるように、というのが由来です。

以前は地域の方々と触れ合う機会となっていたイベントも、新型コロナウイルスの影響により自粛が続いています。人と人との触れ合いが少なくなっている今、「看護の日」を通して何かできないかと考えました。絵手紙を通して、愛媛医療センターの職員と患者さんが思いを伝え合い、間接的に触れ合う機会となればという声から、今回のイベントが実施されました。



優秀賞



最優秀賞

予想を超えるたくさんの絵手紙が集まり、病院廊下に掲示したところ、癒しの空間ができあがりました。投票により入賞作品が選ばれましたが、どの作品も甲乙つけ難い素晴らしさであり、様々な言葉や絵にたくさんの思いや優しさが詰まっていた。少し歩みを緩めて見てくれている姿を何度か見かけ、心が触れ合えたように感じました。

自粛ムードはまだ続きますが、看護の心はあらゆる形となり、多くの人に伝わっていくことを願います。

21病棟看護師長 富士 陽子



受賞作品

## 四季燦餐

### ～秋鮭の巻～

暑さも和らぎ、風が心地よく感じられる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

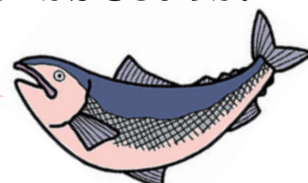
秋は“食欲の秋”ともいわれ、「秋刀魚」や「さつまいも」など秋に旬を迎える食材をスーパーなどで見かける機会も増えてきたのではないのでしょうか。今回は、秋に旬を迎える食材のひとつ「秋鮭」についてご紹介します。

鮭は一年中いつでも買うことができる食材ですが、秋鮭は夏から秋にかけて産卵のために川を登ってくる白鮭のことを指します。白鮭は日本で獲れる鮭で身が薄ピンク色、産地は主に北海道です。産卵や川を登るため脂身が少なく身が引き締まっています。

鮭には抗酸化作用や生活習慣病予防効果があるとされているアスタキサンチン、血液をサラサラにしてくれるEPA（エイコサペンタエン酸）やDHA（ドコサヘキサエン酸）、疲労回復に役立つビタミンB1、カルシウムの吸収を助け骨粗鬆症予防に効果があるとされるビタミンDなど様々な栄養素が含まれています。ちなみに鮭は身が赤いので赤身魚と思われがちですが、エサの色素であるアスタキサンチンが身にたまって赤くなっているため、正しくは白身魚です。

鮭は料理の幅が広く、病院給食でも焼き魚をはじめフライやホイル焼き、ちゃんちゃん焼きなど様々な料理に変身して登場しています。皆様も秋の食卓に取り入れてみてはいかがでしょうか。

サーモン？  
鮭背に「あきじゃけ」と  
呼ばんかい



コロナ禍終息を願って…

# 七夕飾り

線状降水帯による大雨被害やら、新型コロナウイルス感染症の再拡大やら、気の滅入ることが多い昨今ですが、当院では少しでも患者さんの慰めになれば…と、7月13日(水)の午後から、イベント委員会のメンバーと有志の職員で、外来棟玄関脇、本館エレベーターホールに七夕飾りを設置しました。

本来であれば患者さんやご家族の方にも短冊を書いていたいただきたいところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、職員が書いた短冊のみ飾ることとなりました。残念なことですが、健康・安全には代えられません。

飾られた短冊には、「患者さんが元気になりますように」「新型コロナウイルス感染症が終息しますように」「コロナが落ち着いたら旅行に行きたい」など、患者さんの健康や新型コロナウイルス感染症の終息への願いをしたためたものが多くみられました。通りかかった患者さんや職員が「七夕の季節だね」「どんなお願いをしているのだろう」と七夕飾りに歩み寄る場面もあり、多くの方に季節感を楽しんでいただけたのではないかと思います。



私は、新型コロナウイルス感染症が拡大しはじめた令和2年よりイベント委員会に所属していますが、この頃から例年行われていたイベントの多くが中止・縮小されており、イベント委員会として活動することも少なく、非常に残念に思っております。このような状況が一日でも早く解消され、皆様楽しく平穏な日々が戻りますよう願っております。

管理課 田鍋 愛奈

## 看護学校の頁

### ～学び舎から～

#### 看護学修

#### 新カリキュラムスタート

看護基礎教育は、昨年度保健師助産師看護師学校養成所指定規則が改正され、当校でも、今年度入学した21期生より新カリキュラムでの学修がスタートしています。

旧カリキュラムでは1年次の1月に行っていた基礎看護学実習Ⅰを、新カリキュラムでは1年次5月に2日間と2月に3日間設定しました。その狙いは、入学後の早期に、臨地で展開される看護を知ることで、看護の役割や、魅力を実感し、理想の看護師像を明らかにすることです。これからの3年間は、決して楽ではない看護師への道ですが、自分が目指す場所や、目標を明確にすることで、主体性を身につけ歩んでいけると考えています。

前期の実習は7月に延期されましたが、39名全員が実習を終えることができました。1日間、担当の看護師のシャドーイングをさせていただきました。実習を終え学校に戻ってきた1年生は、目

をキラキラさせながら、「看護師さんってすごい！もう1日行きたい！」と話してくれました。学生は初めて間近で患者さんへ提供される看護を見て、看護の役割や責任を理解し、自分が今学習していることが、患者さんへの看護に繋がっているということを実感しています。看護師が、看護を見せるだけでなく、看護の目的や、患者への思いをたくさん語ってくれたことで、1日間という短い臨地での時間が、学生の大きな宝物となっています。実習のノートには「将来、今日教えてくれた看護師さんのようになりたい」という言葉がたくさん出てきていました。

夏休みが終わると、本格的に看護の学習が始まります。実習で見た看護師の姿を思い浮かべながら意欲的に学習に臨んでくれるものと期待しています。

1年生担任 亀田 まゆみ



# ちよつと言い放し 二本立て

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

六月下旬の雨が降る日、約束した時間に県動物愛護センターへ行きました。敷地内にある動物舎でセンターに保護されている子犬たちと顔合わせしました。その時点で譲渡可能な子犬は、生後およそ二ヶ月過ぎの雄三匹と少し体の小さい雌一匹でした。四匹はサークルの中で仲良くじゃれ合っており、手を差し入れると近寄ってきて舐めたり噛んだり、元野犬とは思えない可愛らしさと人懐っこさでした。迷わずそこにいた茶・黒・白色ミックスの雌に決めました。

近くの別のサークルへ移動し一対一になると、緊張しているのか体が固まっています。付き添ってこれている獣医さんによると、普段はおてんばな子犬だそうです。遡ること約一ヶ月、同センターで譲渡前講習というのを受講しました。これはセンターが単なる犬・猫のあっせんではなく、将来収容・処分される犬猫を減らすため、地域の模範飼い主として他の手本になる飼育者を育成することを目的として行っているものです。

当日は九組の参加がありました。毎月二〜三回開催され、毎回同程度の譲渡希望者がいるとすれば、自分のところへ順番が回ってくるのは果たしていつのことになるのだろうと思っていたところ、一月も経たないうちに連絡をもらいました。

犬の平均寿命は十数年だそうです。中には二十年以上長生きするものもあるそうです。自分自身の健康寿命を考えると、犬猫を飼うのは今くらいが最後のタイミングかなと考えていました。ワクチンの追加接種等準備が整ってないためまだ散歩には行けてませんが、散歩デビューするのでもう間もなくです。

甘噛み癖が強く、早朝起きて玄関を開けたらおはようのガブリ、夕方仕事から帰って来ればお帰りのガブリといった具合で、わたしの両手両腕、かかとは傷だらけです。また庭はあちこち掘られてできた穴だらけになりました。

そうそう、名前をまだ言ってませんでした。新しい家族の名前は「ころ」です。玄関前に置いてある犬小屋には、家の名字とセットにしたころの立派な表札が掛かっています。ガリガリかじられ見る影もなくなるのも時間の問題かも知れませんが。

「この子たちは、一度要らないとされた命です」と言っていたセンターの獣医さんの言葉が忘れられません。終生手放すことなく、また自分の方が先に逝かないよう、この先の目標がひとつできました。

日向坂



十年以上乗った愛車の走行距離が、地球四周を超えたので、妻と相談の上、次の車検は受けずに買い換えることにした。新型コロナが蔓延して以来、遠乗りをするのもなくなり、もっぱら子ヨイ乗りに使うだけ。乗り込むのも私と妻。時々私の母か、お犬様。さらに時々お孫ちゃん。という状況なので、コンパクトカーを検討している。候補に挙がっているのは、T社の●ミーと、S社の●リオ。どちらも一長一短があつて決めかねているのだが、それよりも問題は、私や妻がやたらと機能が増え、スイッチの多い最新式の車を使いこなせるかということ。説明を聞けばなるほどこれは便利だ。と感心するのだが、それを使うためには機能の理解と、操作法の習得と、スイッチの場所の記憶が必須となるわけだ。

昨年、当院では車両を一台更新した。これがまさにスイッチだらけ。ディーラーの担当者があれこれと使い方を指導してくれたのだが、私はついに音を上げた。「こんなん、昭和のおいちゃんには無理やで。安全装置は凄いいけど、これ、年寄りに覚えろ言うんは無理やで」と言つと、「一度オンしたら、あとは触らなくてもいいものが殆どですから。使いながら徐々に覚えてください」との弁。

昨今、高齢者ドライバーによる事故が毎日のように報じられているが、最新の安全装置が付いていても、それを使えなければ無いのと同じである。

「車をいじりながら、こう考えた。機能と操作はチンプンカンプン。分厚い取説は読む気になれず。用語は意味不明のカタカナ語ばかりだ。兎角に令和の世は住みにくい。」時代に取り残されたのか、或いは、時代について行けないのか。昭和のおいちゃんにはぶつくさと呟きつつ、蝸牛の歩みで令和の最新機器とおっかなびっくり付き合っている今日この頃。古人の言葉を思い出したので書き付けて筆を置くことにする。『子供叱るな来た道じゃ。年寄り笑うな行く道じゃ』けだし名言である。

樹懶菴

どれじゃったかな？



# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834  
外科外来直通電話 089-990-1835

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	船田	船田	関谷	岩田	関谷
		午後		堀江	船田		
消化器内科	9診	午前	古田	廣岡	久保	首藤 (糖尿病専門)	久保
		午後					
	11診			首藤			
	12診					大藏	
呼吸器内科	10診	午前	阿部	伊東	佐藤	三好	伊東
		午後					田邊
	11診	午前		渡邊		仙波	
		午後					
	8診	午前	三好				山本
		午後					
脳神経内科	8診	午前				尾原	
	12診	午前	尾原	戸井			戸井
		午後	大八木				
整形外科	14診	午前				田窪	
	15診	午前	宮本			宮本	担当医(初診のみ)
	16診	午前	玉井	田窪	玉井		
リハビリテーション科	15診	午前		曾我部	曾我部		
消化器外科	14診	午前		鈴木	森本	渡部(第3週)	
呼吸器外科	14診	午前					湯汲
小児科(神経外来)	14診	午後	菊池		桑原		菊池

専門外来(予約制)		月	火	水	木	金
心臓外科外来	16診					泉谷
ペースメーカー外来	16診				第2・4(午後)	
糖尿病外来	11診					宮崎(第4)
フットケア外来	小児面談室				毎週	
スキンケア外来	救外		第1・3(午前)			
ペインクリニック	12診			山内(康)(午前)		
じん肺外来	16診					西村(第1・3午前)
アスベスト外来	14診		午後		午後	
息切れ外来	11診	渡邊(13時30分~)				
SAS外来	11診					渡邊(14時~16時)
頭痛外来	16診				永井(第2・4午前)	
神経難病	8診			橋本		

※外来受付は8時30分から11時までです。内科は13時から16時までです。  
ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。  
※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2022年10月1日現在

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。